



宮津市消防団広報紙

MATOI MIYAZU

今年度から消防団広報紙の発行を始めました！



第28回 京都府消防操法大会出場

宮津市消防団

R4.12.5

広報紙発行にあたって



宮津市消防団長
中村 尚志

今後は本紙を通じ、宮津市消防団の取組をご紹介していきたいと考えております。火災や自然災害等の被害を少しでも軽減するためには、地域ごとの防災力強化が欠かせません。安全で安心して暮らせる宮津市を目指すために、市民の皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

「まとい」とは

江戸時代に、町火消が組の目印（シンボル）として用いたのがまといです。

現在まといは、全国に約2,200ある消防団の中から毎年10団体に限り授与される、最高位に位置付けられる表彰であり、消防団として最も名誉あるものになります。

宮津市消防団は平成20年に受賞しており、市役所玄関ホールに展示しています。



消防操法大会開催

様々な消防団行事の中で、今年度の目玉である消防操法大会（隔年開催）は、消防団員が**迅速、確実かつ安全**に行動するための、消防活動には欠かせない基本技術を競い合うものです。

宮津市消防操法大会（ポンプ車操法の部）で優勝した宮津分団が、京都府消防操法大会に出場し、結果は6位！残念ながら、今大会は全国大会出場には至りませんでした。



宮津市大会個人賞

〈ポンプ車の部〉優秀賞

指揮者 矢野 洋一（日置）
1番員 前田 純（府中）
2番員 本藤脩太郎（宮津）
3番員 齊藤 優弥（府中）
4番員 新井 春輔（宮津）

〈小型ポンプの部〉最優秀賞

3番員 前野 康之（吉津）

京都府大会出場者

〈ポンプ車の部〉宮津分団

指揮者 智原 元基
1番員 平 悠希
2番員 廣瀬 太一
3番員 嶋谷 知彦
4番員 新井 春輔



消防団員とは

消防団員は、自らの仕事を持ちながら、「自分たちの地域は自分たちで守る！」という強い思いで、市民の皆様の安心、安全を守る重要な役割を担います。

日頃の訓練や点検、地域での経験を活かした消火活動等を行う地域防災の要として日夜問わず活動しています。



宮津市消防団は、平成16年度以降京都府消防操法大会で
優勝6回！準優勝4回！全国消防操法大会に3回出場！

それだけ高度な消火活動が出来ます！



全国消防操法大会は、各都道府県大会の優勝消防団が、ポンプ車、小型ポンプのどちらかに出場し競い合います。2種目の各都道府県の全国大会出場権は、大会開催ごとに入れ替わります。

京都府全国出場権：令和4年度 ポンプ車 令和6年度 小型ポンプ

宮津市消防団は、団本部を中心に、宮津、由良、栗田、吉津、府中、日置、養老の7分団があります。

今回は、今年度宮津分団と由良分団が実施した活動を紹介します！

— 宮津分団 —

宮津地区、上宮津地区を管轄し、53名で4台のポンプ車を管理し活動しています。

— 由良分団 —

由良地区を管轄し、24名でポンプ車、小型ポンプ積載車を1台ずつ管理し活動しています。



保育園の夏祭りに参加

宮津分団では、市内の亀ヶ丘保育園から、夏祭りイベントで働く車を見せてほしいとの声を受け、園庭内で消防車から実際の放水を見てもらいました。

また、消防車に乗っての撮影会や放水体験も行い、子どもたちや保護者の皆様からは喜びの声が聞かれました。
(宮津分団本部 班長 戸田恒也)



火災想定訓練

由良分団では、有事の際に備え、由良駅付近で火災想定訓練を実施しました。消防車両2台が出動し、団員同士の連携も確認しました。

また、今回は、宮津与謝消防署員の方にも講師として来ていただき、直接アドバイスを受けることができ、今後の現場活動に生きる充実した内容となりました。

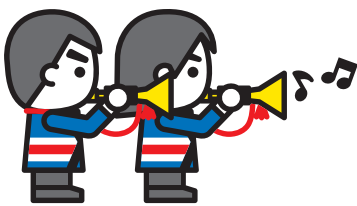
(由良分団本部 班長 田村光広)



火の取扱いにご注意を！

火気の使用が増える年末を迎えるにあたり、消防団は消防署とともに年末警戒に努めます。

令和5年1月8日には消防出初式を開催！
島崎公園付近でパレードや一斉放水を実施します。ぜひ会場まで!!



～消防団員募集中～

あなたの力を消防団に

入団希望者は男女問わず入団できます。

消防団に入るとこんな待遇を受けられる

非常特別職の地方公務員となり、年額報酬、災害活動や機械点検等に出動した際などの手当が支給されます。

詳細はお近くの消防団員または宮津市消防防災係まで
TEL 45-1605